

「香港中文大学サマースクールプログラム（中国語コース）参加報告書」

京都大学法学部 5年 金子美咲

①学習成果

今回の留学は海外で英語以外の言語を学ぶ初めての機会であったが、新鮮な刺激が多く非常に有意義な時間を過ごすことができた。参加者の半数近くは日本人であったが、世界各国から中国語を学びに来ている学生と共に中国語だけでなく香港のもつ特有さ、成長性についても学ぶことができた。

今回のプログラムを通して中国語スキルが飛躍的に上昇したとは言えないが、中国語を身に着ける有用性を実感できたこと、中国語の環境に身を置く経験できたことは非常に貴重であったと考えている。今後は中国語の学習を続け、資格試験を取得する・積極的に中国語を使う機会を持つ等により、学術やビジネスにおいても使える中国語スキルを身に着けたいと感じた。

②海外での経験

現地では全員大学内の同じ寮に2~3人部屋で滞在だったので、交流しやすくすぐに打ち解けることができた。毎週末に香港市内・マカオ・深センへのフィールドトリップがあり飽きることなく3週間を過ごせたと感じる。京大と現地学生の交流、TA等を通して香港の学生と知り合う機会も多かった。中国らしさと同時に香港の独特さも随所に感じることができ、とても興味深かった。

また、オリエンテーション等を通して、大学側も参加者へのケアをしっかりと行ってくれていたように思う。学内は静かで勉強に集中できる環境ではあったが、過疎過ぎて物資調達等のためにいちいち電車に乗る必要があったのが面倒だった。部屋には基本的な日用品(トイレトーパー等)も全くなかったため、そのあたりの情報が事前に共有されていれば日本から持参することもできたと考える。

③プログラム内容

中国語の授業は平日 9:30~12:15.14:30~16:15 であり、オーラル・文法の2クラスあった。今回はレベル1のUpper(全4レベル中下から2番目)をとったが、正直2年間中国語を学んだ自分には易しすぎた。事前の placement test は難しすぎて殆ど出来なかったため仕方がないが、同じクラス内でも日本人学生と欧米人学生との間では理解度にかなり差があったため改善が求められると感じた。

授業は基本的にテキストに沿って行われるが、15人弱の少人数であったため質問等はしやすい環境だった。劇やロールプレイを積極的に取り入れた楽しい授業もあれば、例文を繰り返し音読するだけの授業もあったため先生によって大きく内容が異なると感じた。

④進路への影響

来年度からの就職にあたり海外勤務をしたいという思いは従前から持っていたが、今回の香港滞在を通して益々その思いが強くなった。特に香港というアジアで最も発展期にあるともいえる地域でその活気を身を持って実感し、また中国語ができないもどかしさも痛感することができた。